

平和を考える市民のつどい

Think the Peace 2019

8月3日(土) SAYAKAホール・小ホール 入場無料

問い合わせ 市民相談・人権啓発グループ

「ひまわり ～沖縄は忘れない あの日の空を～」

開場/午後1時 開演/午後1時45分 定員 350人(当日先着順)

1959年6月、宮森小学校6年生だった良太の学校に米軍のジェット機が墜落し、良太は多くの友人を失った。そして2012年、良太の孫の琉一は、大学のゼミで沖縄国際大学米軍ヘリ墜落事故と宮森小の事件を調べ始める。しかし、事件の真相を良太は語りたがらず、また遺族たちも今でも53年前の事件の傷を癒せないでいた。

実際に起きた沖縄県石川市(現うるま市)での米軍ジェット戦闘機墜落事故を映画化。沖縄の悲しい現実を浮き彫りにしていく。(110分)



©2012年 映画「ひまわり」製作委員会



アニメ映画「どう列車がやってきた」

開場/午前9時15分 開演/午前10時 定員 350人(当日先着順)

ポッポちゃんの父は、名古屋の東山動物園の園長。ポッポちゃんは、毎日サプちゃんと一緒に動物園を回るので、動物たちは、みんな二人の友だち。

そのころ、日本は戦争をしていたが、動物園にはまだたくさんの動物がいた。その中でも一番の人気者の象の周りにはいつも人でいっぱい。戦争が激しくなると、動物園でもエサ不足が深刻になってくる。そんな中、全国の動物園に、猛獣を処分せよという命令が出された。処分する猛獣の中には、象も含まれていた。上野動物園では、3頭の象が殺された。処分の命令を再三断り続けてきた東山動物園でもついに…。(90分)

儀間比呂志 作品展Vol.2 協力:立命館大学国際平和ミュージアム

午前9時15分～午後4時30分

儀間比呂志(ぎまひろし)1923年～2017年。沖縄生まれ。18歳から約3年間をテニアンで過ごす。海軍に従軍後、横須賀で終戦を迎える。戦後、大阪を拠点に制作活動をはじめ、版画を中心に数多くの作品を生み出す。1956年からは沖縄で取材を続け、人々の暮らしや祭りといった日常風景、沖縄戦やアメリカ軍基地問題などをテーマとした作品を数多く描いた。今回は、立命館大学国際平和ミュージアムに寄贈されたコレクションの中から、10作品を展示予定。



「いくさ花あそび」



「母と子」

●夏休み子ども平和スタディツアー

語り部の伝える戦争体験を聴き、戦跡を見学し平和について学ぶバスツアーです。

- | | |
|-------|--|
| とき・内容 | ①15日(例)午前10時～午後0時/オリエンテーション、②20日(土)午前9時～午後4時30分/バスツアー、③27日(土)午前10時～午後0時/分かち合いタイム |
| ところ | ①③市立公民館・集会室2、②真田山陸軍墓地、ピースおおさか |
| 対象 | 市内に居住・通学する小学5～中学3年生と保護者(子どものみの参加も可) |
| コース | 市役所～真田山陸軍墓地フィールドワーク～昼食～ピースおおさか見学(語り部による講話)～市役所 ※バス移動 |
| 参加費 | 無料 |
| 定員 | 20人程度(先着順) |
| 持ちもの | 昼食・飲み物、筆記用具、帽子 |
| 申し込み | 1日(月)～12日(金)に、住所・名前・生年月日・電話番号・メールアドレスを電話で市民相談・人権啓発グループ。ファクシミリ(FAX366-0051)または電子メール(jinken@city.osakasayama.osaka.jp)も可 |



●夏のおはなし会「平和に関する本の読み聞かせ」

とき 8月4日(日)午前11時～11時40分 ところ 図書館・おはなしの部屋 作品 「すみれ島」など 協力 さやまおはなしの会

原爆死没者の慰霊と平和祈念黙とうを

昭和20年8月6日広島に、9日長崎に原爆が投下され、多くの尊い命が奪われました。両市ではそれぞれの日に原爆死没者のめい福と世界の恒久平和を願う式典が開かれ、原爆投下時刻に合わせて1分間の黙とうが捧げられます。皆さんも職場や家庭で黙とうをお願いします。

8月6日(火)午前8時15分
8月9日(金)午前11時2分